



学校だより 3月 365号

横浜市立六つ川西小学校 (TEL) 742-6301 (FAX) 743-2394

URL <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/mutsukawanishi/>

「平成の学び 令和の学び」

校長

コロナ禍の中、六つ川西小学校の教育活動も年度末を迎えました。学校にとっても、私たちにとっても、人生で初めて経験するようなことの多かった令和2年度が終わろうとしています。

今年度の学校経営は、4月当初から先行きの見えない中で、至らぬ点多々あったと思いますが、保護者や地域の皆様から、温かい励ましや期待、感謝の言葉などをたくさんいただきましたことに、教職員一同、心よりお礼を申し上げます。

本年度は、新学習指導要領の全面実施に伴い、六つ川西小学校でも「対話的な学び」を中心とした研究をすすめて参りました。年度当初に休校となり、授業が再開されても「ペアやグループでの学び」に制限が加わる中、先生方の授業改善への模索がはじまりました。今では、どの先生も日々の授業の中で「一人ひとりの学び」を大切にしながら、教師の仲立ち支援による「学び合い」(対話的な学び)を実現させています。子どもたちの「わかった」「もっとやりたい」という笑顔に出会えた時、学校の役割、教師の役割の大きさを感じずにはられません。子どもたちも、これだけの困難を乗り越えたからこそ「今」があります。

急激に変化する時代の中においても、子どもたちのために学校で育むべき資質・能力や、保護者、地域が担う役割はこれからも変わらないと考えています。

文部科学省が「令和の日本型学校教育」の中で示しましたが、子どもたち一人ひとりが、自分のよさや可能性に気づき、自分の周りの人たちを価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓いていくことができるよう、学校、家庭、地域が一体となって取り組んでいく必要があります。

新しい生活様式に基づく学校生活や教育活動の中でもこれらのことが達成できるよう、皆さんとともに進めてまいりましょう。

この年度末は、子どもも教職員もみんなで心と力と知恵を合わせて現状に立ち向かい、前を向き、新たな希望をもって令和2年度をしっかりと締めくくります。

令和3年度も、かわらぬご支援、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

ありがとうございました。



「マイナスをプラスに」

児童支援専任

「おはようございます！」分散登校する子どもたちに声をかけるところから、私の一日が始まります。

「先生、イラスト上手に描けたよ。見て」とノートを見せてくれる子。「ほうれん草、こんなに伸びてきたんだよ」と毎朝うれしそうに水をあげている子。少しの時間ですが、全校の子どもたちの様子を見られる貴重な時間です。

「コロナ禍」と言われて一年あまり。私の教えている音楽でも、現在はリコーダーや歌唱学習ができず、キーボードなどを使った合奏など、できることを工夫しながら授業をする毎日です。でも、「いつも通りのことができなくて」と思う大人の気持ちを覆すほど、子どもたちはその柔軟な対応力で、目をキラキラさせて活動してくれます。

「これができない」というマイナス面ばかりに目を向けるのではなく、「これならできる！」というプラスの発想で生活を送ることの大切さを、たくさん子ども達から学ぶことができました。今年度もあと1か月ですが、六つ川西小の全ての子どもたちが、安心して楽しく、充実した学校生活を送れるように、これからも見守っていきたいと思っています。